

自治ひろば

1621号

2022. 12. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

当面の日程

- 19日 県本部教宣委員会総括会議 (県本部会議室)
- 21日 県本部衛生医療評対県申入れ (兵庫県庁)
- 23日 県本部現業・公企闘争委員会 (ひょうご共済会館)

障勞評が労働局へ申し入れ ダブルカウント制の見直しや 離職防止に向け要望

県本部障害労働者評議会は11月24日、兵庫労働局に対し河合良宣議長が「障害者雇用の推進に向けた要求書」を提出し、交渉に応じるよう申し入れを行った。

河合議長は、「①障害者の雇用状況を明らかにすること。特に精神障害者の離職率が高いため、合理的配慮の提供等離職防止に向け指導すること②欠格条項について、精神障害に至っては、減るどころか急増しているため、障害の軽重問わず、イメージによるレッテ



要求書を渡す河合議長

ル貼りが行われないように指導すること③重度障害者のダブルカウント制について、個々の職務能力や実態を反映させるべき。特に地方公共団体へは撤廃または制度の見直しを厚労省に対

して働きかけを行うこと④採用時の『自力通勤・介護者なし勤務可能な者に限り』とした欠格条項を削除するよう指導すること⑤障害者が健康に働き続けるために合理的配慮を行うこと⑥コロナ禍での時差出勤や在宅勤務やウェア会議等、新たな働き方への対応が求められており、引き続き民間企業が実践している好事例の情報提供を行うこと」など趣旨説明をし、春闘期に交渉を行うことを確認し申し入れを終えた。



11月3日の決起集会で最終意思統一を図った

県本部は人事院勧告に基づく給料表の改定や一時金0・1月増などを求め、11月11日と18日に統一行動日を設定し、各単組で確定交渉が実施され、正規職員は人事院勧告どおり改定することが確認された。

県内各自治体では、正規職員の給料表を4月に遡って改定、一時金0・1月増額分を12月支給で確認。芦屋勧告どおり妥結した。

会計年度任用職員について、神戸は11月8日の市労連交渉で常勤職員との均衡を考慮し、期末手当を0・1月引き上げて年間2・5月とするので妥結。西宮

水労が人勧を反映し給料表の改定と期末手当0・1月増を12月支給で確認。芦屋3単組も給料表改定と報酬加算として+0・1月を12月支給。宝塚も期末手当0・1月増を12月支給とし、南あわじは期末手当+0・06とし年間2・52月。南あわじと淡路が給料表の改定時期を23年1月へ前倒し。伊

2022確定闘争

正規は人事院勧告どおり妥結

会計年度は一部改善にとどまる

丹指労八鹿病院・養父臨瀕労は2023年度の期末手当0・1月増で確認。佐用ひまわり労組は給料表を4月遡及改定の予定。豊岡病院は正規に準じ給料表を改定し12月末に遡及予定。一時金は病院独自の運用により勤勉手当増額相当分を期末手当に加算することとした。

全日本自治体退職者会兵庫県本部(兵退連)は、10月25日、第47回定期総会を神戸市内で開催。コロナ禍のため、この2年書面総会だったが3年ぶりに対面方式で開かれた。

兵退連第47回定期総会

現退一致した運動強化を 3年ぶりに対面で開催



あいさつをする大槻会長

大槻信夫兵退連会長はあいさつで、3年ぶりに開催できたことを評価しながらも、私たちを取巻く状況について「年金が今年6月から減額される中で、円安などによる物価上昇がある。政府の無策が腹立たしい。現退一致して政府の政策を改めさせよう」と訴えた。

その後、執行部から新年度活動方針案等が提案され、満場一致して確認された。

返つてみた。コロナ・カルト・戦争・利権・腐敗・値上げなど、どんより曇った印象の言葉しか思い浮かばない年だった。秋以降に相次いで鬼籍に入った先輩・同世代の仲間を想うと、さらに沈んだ気持ちになる。そんな中でも、身の周りでは、大小さまざまな嬉しい出来事があった。非正規の仲間の処遇改善要求が通った。編集に関わった動画がコンテストで大賞を受賞した。応援した候補が選挙で勝った。音楽仲間が増えた。家族も増えた。挑戦したことや初めて体験することもたくさんあった。朝の駅立ち、街宣行動でのマイクアピール、自治研集分科会の座長、オーディオブック、ウクレレサークル、動画編集、高血圧の薬。▼ともかくにも、今年もみんなよく生きた！おつかれさま！

しこう

「覆水盆に返らず」変えようがない過ぎたことを取り上げるのも仕方がない話だが、年の終わりの振り

平和こそ市民の願い

現状の課題と憲法の理念を共有しよう

「憲法を変えることより活かすこと」をスローガンとして憲法理念の実現をめざす第59回大会(護憲大会)が11月12日から松山市内で開催された。全国から650人が参加し、開会総会を

はじめ、分科会、ひろば、フィールドワーク、閉会総会と3日間の日程で実施された。全国各地の参加者は改憲阻止・軍拡反対の取り組みを強めていくことを確認しあった。

翌日からは分科会・ひろばなどに分かれ、各課題の問題提起や意見交換が行われた。



ひろば「伊方原発問題講演会」

初日は全体企画として「国交正常化50年 対話の扉を大きく開きアジアの緊張緩和と世界平和への貢献」としてシンポジウムを開催。3人のパネリストから日本と中国との過去、現在の関係から今の日本の対応について意見が交わされ

いまいち座

イロン・マスク氏

イーロン・マスク氏



松本 真紀子

猛烈な勢いで退転が

囲碁・将棋大会 将棋は高田さん(尼崎市職労)が2連覇

県本部第42回囲碁・将棋大会は12月3日、ひょうご共済会館で囲碁の部に5単組13人、将棋の部に20単組35人が参加し、熱戦が繰り広げられた。

開会で山下忠之委員長は「日々の練習の成果を發揮していただき、囲碁将棋を通して交流が深まることを期待したい」とあいさつ。試合はクラス別に行われ、

囲碁の部本因坊では、藤原正剛さんが初の栄冠に、将棋の部名人位では高田洋平さんが2連覇を果たした。

で2回目の出場。昨年は決勝戦で敗れた。普段は神戸市のOBグループで月2回、地元の開基クラブで週3回ほど打っている。決勝では序盤は不利な形成だったが、終盤の巻き返しで勝利した。今日は負けてもともと開き直り決勝に挑んだのが良かったと話した。

また、将棋の部名人位で2連覇した高田陽平さんは「昨年の優勝で色々、声をかけてもらった。今回も優勝で、尼崎市職労としてのアピールになったと思う。勝因は楽しみながら指せたことや、定跡にこだわら



囲碁本因坊決勝戦



将棋名人位決勝戦

組合つぶしは許さない 弾圧をはねのけ、 あたりまえの労働運動を

全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)を支援しようとして「労働組合つぶしを許さない兵庫の会」第3回総会が11月25日に中央文化センターで開催され、会場から溢れるほどの参加があった。

総会冒頭呼びかけ人を代表して、岩佐卓也教授が「人権無視、反組合の警察、検察を変えるには勝つしかない」とあいさつした。総会議事を確認後、ド

キュメンタリー映画「ここから関西生コン事件」と「私たち」を上映。関生支部への不当弾圧は「労働者が権利を主張すれば『恐喝』『ストライキは『威力業務妨害』『組合要求は『強要』とされ、多くの組合員役員が不当逮捕、長期勾留が行われた。国家権力は『あたりまえの組合活動』を犯罪にし、仲間や家族に大きな傷を負わせたが、連帯力の必要性が伝わる内容だった。上映後、映画の主人公で



決意を語る松尾さん

もある松尾聖子さんが登壇し「誰も悪いことはしていないし、絶対に負けたくない。多くの人に、この映画を見てもらいたい」と力強い決意を語った。

ブロック大会 全勝で南あわじが優勝 独自ルールで交流深める

11月13日に淡路市佐野運動公園において、阪神淡路ブロックフットサル大会が開催された。コロナ感染拡大の影響で、3年ぶりの開催となったが、5単組(西宮水産、三田市職労、淡路市職労、南あわじ市職労、淡路広域水産)が参加。

5チーム総当たりのリーグ戦で、「女子選手の得点は2点」という、今大会独自のルールを取り入れたこともあり、初出場の淡路広域水産をはじめ、淡路市職労、南あわじ市職労でも、積極的な女子選手の起用があった。



3年ぶりに5単組が交流

【囲碁の部】本因坊藤原正剛(神戸退職者会) Aクラス 多田満雄(神戸退職者会) Bクラス 榮藤祐輔(太子町職)



優勝した丹波篠山チーム

【将棋の部】名人位 高田陽平(尼崎市職労) Aクラス 重藤正平(明石市職労) Bクラス 公文将司(明石市職労) Cクラス 近野公彦(明石市職労)

但馬丹波ブロックでは、来年3月に予定されている県本部卓球大会の出場権をかけて、11月26日に7チームが参加する中、養父市内で予選大会を開催した。試合は予選リーグを行い、Aリーグ1位の丹波篠山と2位の豊岡病院、Bリーグ1位の新温泉と2位の朝来が決勝トーナメントで対戦。準決勝は丹波篠山対朝来、新温泉対豊岡病院が対戦し、いずれも4対3で丹波篠山と豊岡病院が決勝へ進出。決勝戦も丹波篠山と豊岡病院の両チーム譲らず、3対3のフルゲームとなり白熱した試合となったが、丹波篠山が激戦を制し、2010年の第5回大会以来12年ぶり3度目の優勝に輝いた。

丹波篠山が激戦制す 12年ぶり3度目の優勝

自治労共済生協 組合員の皆さまへ

知って得する!

団体生命共済 リニューアル キャンペーン

新しくなった団体生命共済を広くお知らせするために
キャンペーンを開催!ぜひご参加ください!

(森林労運共済推進本部・たばこ共済推進本部・自治労共済推進本部・
全水道共済推進本部の合同キャンペーンです)

応募期間
2022年12月1日(木)~2023年2月28日(火)

アンケートにお答え
いただいた方の中から
抽選でプレゼント!

スマホ用カメラアダプター付き
なので取り付けカンタン!

一般的なスマホであれば、複数回フル
充電できます!

A賞 10人 フィールドスコープセット

B賞 3,000人 ソーラーモバイルバッテリー

応募方法
WEBアンケートへの回答
<https://secure.surveymethods.com/questionnaire/22coop>

WEBで簡単!

応募資格
・森林労運共済推進本部
・たばこ共済推進本部
・自治労共済推進本部
・全水道共済推進本部
の各共済協会の組合員

くみん共済 NEWS
5122F037

簡単なアンケートです!
お気軽にご参加ください。

不明な点があれば、
まずは組合までご連絡ください。

くみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「くみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の
皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的として
います。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住
地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種
共済制度をご利用いただけます。